

サンスター賞を受賞



大学院医歯薬学総合研究科
齋藤 俊行 教授



大学院医歯薬学総合研究科医療科学専攻社会医療科学講座口腔保健学分野の齋藤俊行教授らのグループが、長崎大学着任前に九州大学から発表した論文「日本人女性における肥満，耐糖能と歯周病との関係：久山町研究」により，サンスター歯科保健振興財団主催の第2回「歯周病と全身との関係」に関する論文のサンスター賞を受賞しました。

同賞は，歯周病に関する代表的な国際誌「Journal of Periodontology」，「Journal of Clinical Periodontology」，「Journal of Periodontal Research」に発表された歯周病と全身との関係に関する論文の中から3年毎に3篇が選考され，授与される国際的な賞です。

今回の齋藤教授らの受賞が日本のグループとしては初の受賞となり，他の2篇には，米国のDr. John Elterグループの「歯周病及び歯喪失と冠動脈性心臓疾患罹患の関係」，ドイツのDr.Christof Dorferグループの「歯肉炎，歯周炎と虚血性脳卒中の関連性」がそれぞれ選考されました。

なお，受賞論文の発表・授賞式は，6月30日（金），スペイン・マドリッドで開催されたEuroperio 5（ヨーロッパ歯周病学会）の会場内において行われました。

（医歯薬学総合研究科学術協力課）